

子育て環境に対する意識に関するアンケート調査結果

子育て支援課

1 調査目的

県では、「安心して子どもを産み育てることができる岐阜県」を目指してさまざまな施策を推進しています。

今回、「子育てに関する環境」に対する県民の皆さんの意識を把握し、今後のこども・子育て対策に関する取り組みの基礎資料とさせていただくため、調査を実施しました。

2 調査対象等

調査対象 : 県政モニター839人(郵送モニター199人、インターネットモニター640人)

調査方法 : 郵送及びインターネット

調査期間 : 令和6年6月17日～7月12日

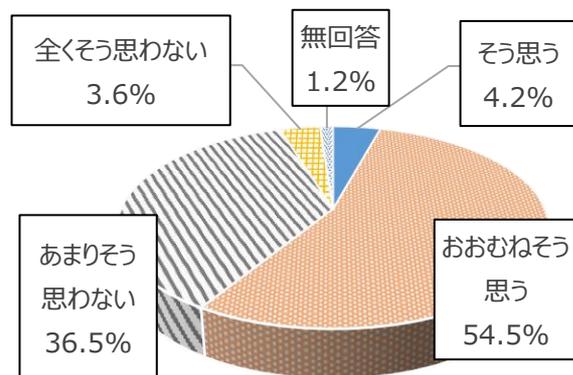
回収結果 : 781人(回収率:93.1%)

その他 : 構成比はパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。
そのため、合計が100%にならない場合があります。

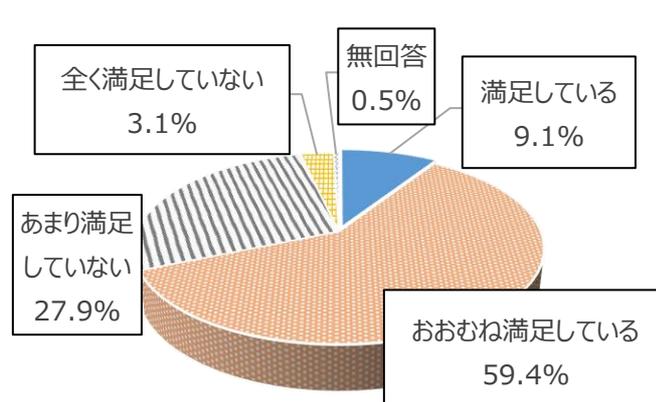
3 結果概要

○岐阜県の子育て環境について

・岐阜県は子育てにやさしい社会であるか



・岐阜県で子育てをしていること、または子育てをしたことについて満足しているか



○結婚や家庭を持つことに夢や希望を持てる社会について

結婚や家庭を持つことに夢や希望を持てるために、何が必要かについて、「子育て支援の充実」が64.4%と最も高く、次いで「雇用対策、労働環境の改善」が63.0%となっている。

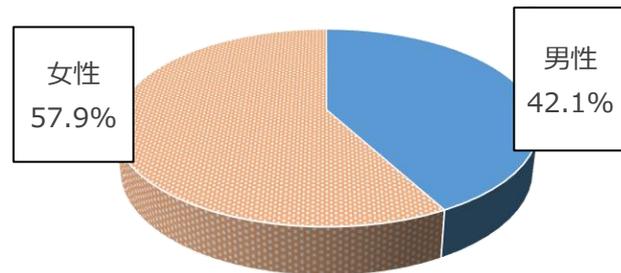
○仕事と子育ての両立について

男女ともに働きながら安心して子育てできるために、何が必要かについて、「多様な働き方ができること」が28.2%と最も高く、次いで「子どもの預かり先、サービス内容の充実」が19.5%となっている。

4 回答者属性

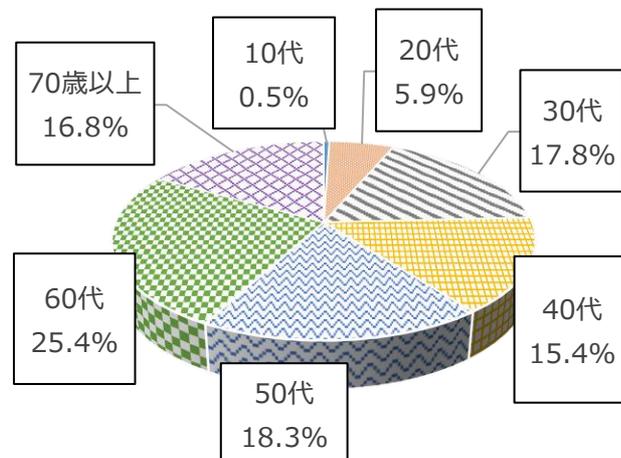
(1)性別

	人数	構成比
男性	329	42.1%
女性	452	57.9%
合計	781	100.0%



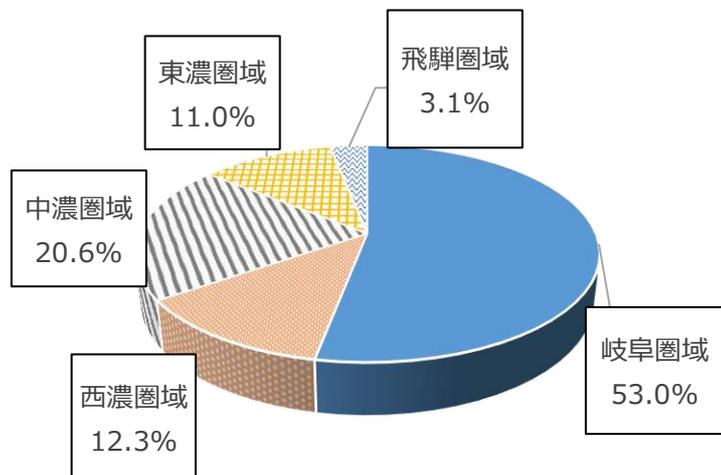
(2)年代別

	人数	構成比
10代	4	0.5%
20代	46	5.9%
30代	139	17.8%
40代	120	15.4%
50代	143	18.3%
60代	198	25.4%
70歳以上	131	16.8%
合計	781	100.0%



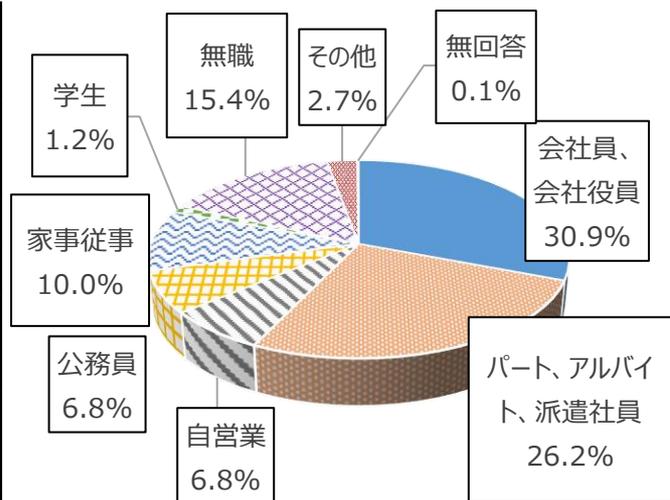
(3)居住圏域別

	人数	構成比
岐阜	414	53.0%
西濃	96	12.3%
中濃	161	20.6%
東濃	86	11.0%
飛騨	24	3.1%
合計	781	100.0%



(4)職業別

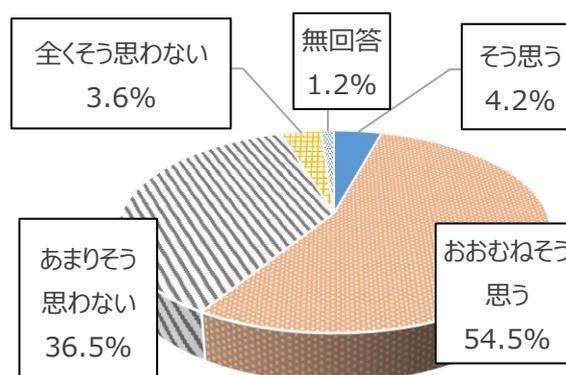
	人数	構成比
会社員、会社役員	241	30.9%
パート、アルバイト、派遣社員	205	26.2%
自営業	53	6.8%
公務員	53	6.8%
家事従事	78	10.0%
学生	9	1.2%
無職	120	15.4%
その他	21	2.7%
無回答	1	0.1%
合計	781	100.0%



5 調査結果

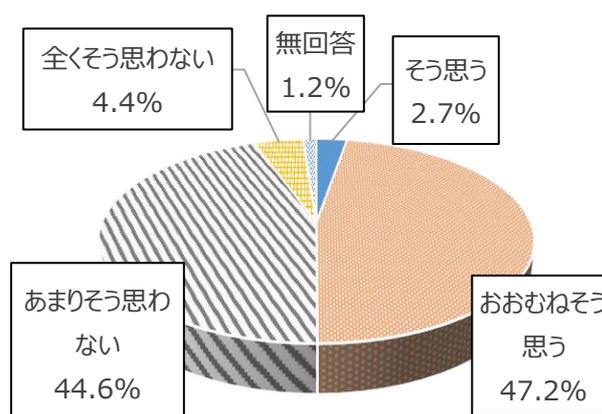
問1 あなたは、岐阜県が子育てにやさしい社会であると思いますか。

	人 数	構成比
そう思う	33	4.2%
おおむねそう思う	426	54.5%
あまりそう思わない	285	36.5%
全くそう思わない	28	3.6%
無回答	9	1.2%
合 計	781	100.0%



問2 あなたは、岐阜県が結婚・出産・子育てについて、夢や希望を持ったり、楽しい・頑張ろうなど、前向きに考えることができる社会であると思いますか。

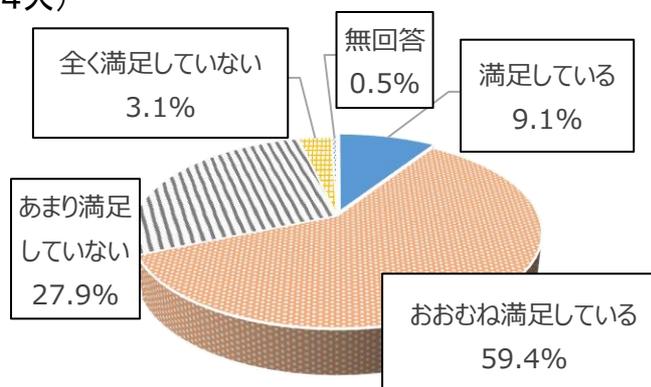
	人 数	構成比
そう思う	21	2.7%
おおむねそう思う	369	47.2%
あまりそう思わない	348	44.6%
全くそう思わない	34	4.4%
無回答	9	1.2%
合 計	781	100.0%



問3 あなたは、岐阜県で子どもを育てていること、または育てたことに満足していますか。

(子育て中及び子育て経験者／回答者614人)

	人 数	構成比
満足している	56	9.1%
おおむね満足している	365	59.4%
あまり満足していない	171	27.9%
全く満足していない	19	3.1%
無回答	3	0.5%
合 計	614	99.5%



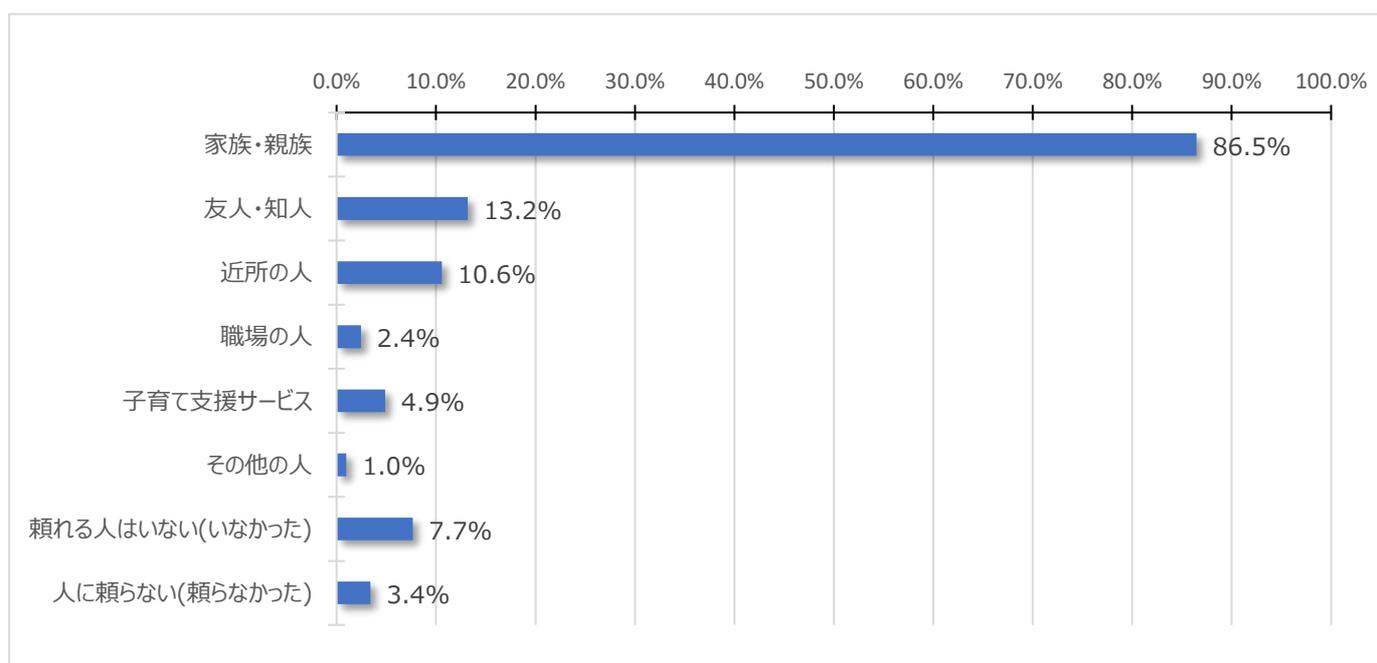
問4 こどもの世話や看病について頼れる人がいますか、またはいましたか。(あてはまるもの全て)

(子育て中及び子育て経験者／回答者614人)

	人 数	構成比
家族・親族	531	86.5%
友人・知人	81	13.2%
近所の人	65	10.6%
職場の人	15	2.4%
ファミリー・サポート・センター、一時預かり保育等の子育て支援サービス	30	4.9%
その他の人	6	1.0%
頼れる人はいない(いなかった)	47	7.7%
そのことでは人に頼らない(頼らなかった)	21	3.4%
合 計	796	

「その他」のうち主なもの

- ・病児保育
- ・子ども家庭支援センター
- ・保育園
- ・学童保育



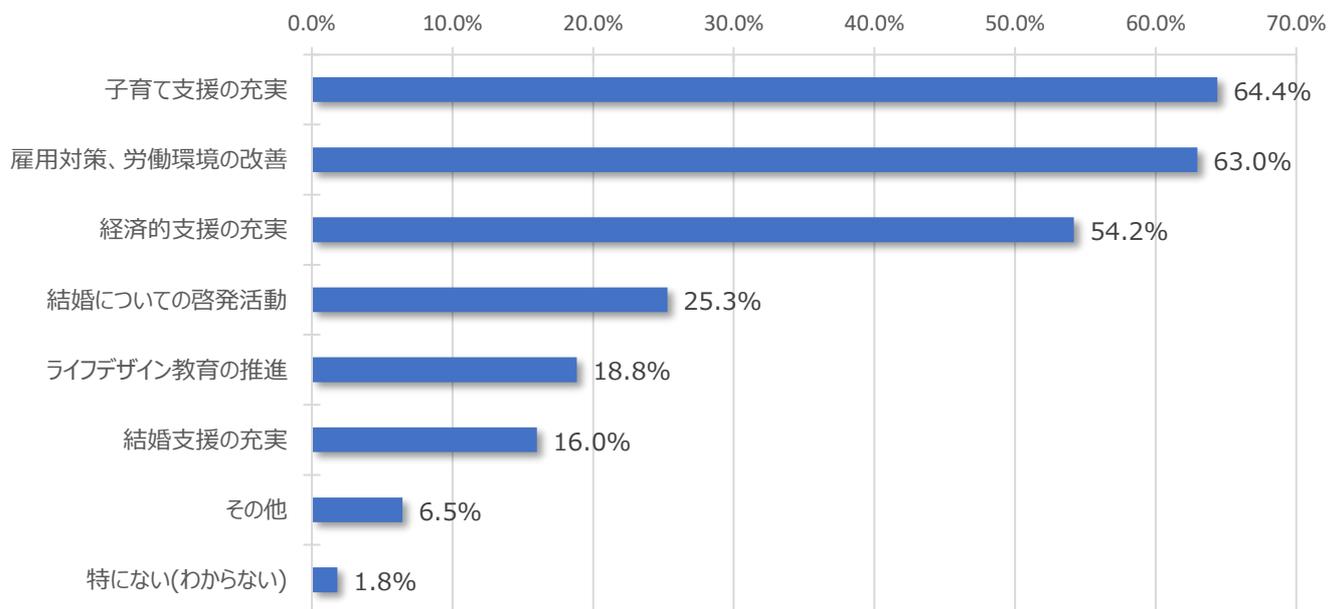
問6 あなたは、結婚や家庭をもつことについて夢や希望を持てる社会にするためには何が必要だと思いますか。

(複数回答)

	人数	構成比
子育て支援の充実 (子どもの預かり先の充実など)	499	64.4%
雇用対策、労働環境の改善 (若者の就労支援、テレワークの推進など)	488	63.0%
経済的支援の充実 (結婚祝金、出産祝金の給付、住宅取得に対する助成など)	420	54.2%
若者が結婚を肯定的に捉えることができるような啓発活動の推進	196	25.3%
ライフデザイン教育の推進 (若者が自らの人生設計を考える機会の提供)	146	18.8%
結婚支援の充実 (男女の出会いの場の提供)	124	16.0%
その他	50	6.5%
特にない (わからない)	14	1.8%
合 計	1937	

「その他」のうち主なもの

- ・ 男女格差の解消
- ・ 気軽に相談できる場所
- ・ 教育にかかる費用の不安解消
- ・ 子育てや家族に対するイメージの向上
- ・ 心や時間のゆとり



問7 あなたは、男女がともに働きながら安心して子育てができる社会の実現のために、必要なものは何だと思いますか。

(最も必要なもの1つ)

	人 数	構成比
多様な働き方ができること（短時間勤務や在宅勤務など）	221	28.2%
子どもの預かり先（保育園、放課後児童クラブなど）やサービス内容が充実すること	153	19.5%
出産・子育てなどで気軽に休みが取れること	119	15.2%
早く家に帰ることができること（時間外労働を減らすこと）	90	11.5%
出産・子育てなどで退職しても再び働くことができるような行政の支援があること	75	9.6%
配偶者や家族が子育てに参加すること	70	8.9%
その他	39	5.0%
特にない（わからない）	10	1.3%
無回答	7	0.9%
合 計	784	100.0%

※重複して回答いただいた方もいるため、総数が全回答者数よりも多くなっています。

「その他」のうち主なもの

- ・ 所得の向上、安定した収入
- ・ 社会や周りの人たちの意識の改革
- ・ 男女格差の解消
- ・ 上記のいずれも大切

